

バージョンアップ手順書

システムを複数台でご使用の場合、アプリケーションのバージョンアップはシステムをお使いの全てのパソコンで作業を行います。また、作業を行うパソコン以外では、システムの画面を全て終了してください。

念のため、作業前にバックアップをお取りください。

- 1 台でご使用の場合・・・1→2→3→4の順に作業を行います。
- 複数台でご使用の場合・・・1→2→3→4→5の順に作業を行います。
- 複数拠点があり、サーバ機を設置していない拠点でご使用の場合・・・5の作業を行います。

1. バックアップ

バージョンアップの前には、下記のいずれかの手順で必ずバックアップを行ってください。

※複数台でお使いのお客様はいずれか 1 台のパソコンで行ってください。

- ・メニュー画面から「日次業務」→「データバックアップ」
- ・メニュー画面下部のお好みメニューの「データバックアップ」
- ・メニュー画面終了時に表示される自動バックアップ実行画面

2. バージョンアップの準備

※複数台でお使いのお客様は親機・サーバ機で行ってください。（別拠点がある場合も同様）

※バージョンアップ処理を開始する前に使用中のプログラムをすべて終了してください。

1. すべてのパソコンで RacroS II を起動しない状態にし、パソコンに「バージョンアップ DVD」をセットします。DVD の色は緑です。

DVD をセットした際に下図のメッセージが表示された場合は・・・

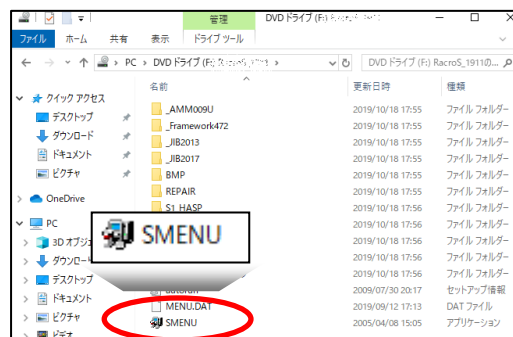
下記の手順で「rundll32.exe の実行」をクリックします。



バージョンアップメニュー画面が自動的に表示されない場合は・・・

次の操作を行ってバージョンアップメニュー画面を表示してください。

- ① Windows の「スタート」ボタン（旗のマーク）を右クリックして「エクスプローラー」を選択します。
- ② 「PC」または「コンピューター」を選択します。
- ③ DVD ドライブを右クリックして「開く」を選択します。
- ④ 「SMENU」をダブルクリックします。



2. バージョンアップメニューが表示されましたら、次の手順に進みます。

アプリケーション『バージョンアップ』メニュー

- 整備提供データのバージョンアップ
- アプリケーションのバージョンアップ

3. 整備提供データのバージョンアップ

1. 「整備提供データのバージョンアップ」をクリックします。
2. 「次へ」をクリックします。



3. 「開始」をクリックします。

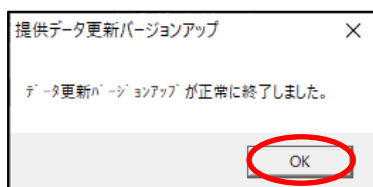


4. 確認メッセージにて「はい」をクリックすることでバージョンアップ処理が開始されます。

バージョンアップが完了するまで、**30分～40分**程かかります。

※お客様がご利用中のパソコンの環境により異なります。次の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

5. 「OK」をクリックします。



続いてアプリケーションのバージョンアップを行います。

4. アプリケーションのバージョンアップ

1. 「アプリケーションのバージョンアップ」をクリックします。
2. 「次へ」をクリックします。



3. 「開始」をクリックします。

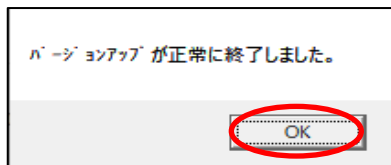


4. 確認メッセージにて「はい」をクリックすることでバージョンアップ処理が開始されます。

バージョンアップが完了するまで、**5分～10分**程かかります。

※お客様がご利用中のパソコンの環境により異なります。次の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

5. 「OK」をクリックします。



弊社発送の DVD は再インストールなどに使用するため、過去 2 回分の保管をお願いします。不用品 DVD は、お住いの地域の分別ルールに従って廃棄をお願いします。

※ 鈑金オプションをお使いのお客様

鈑金提供データ DVD(青色)をパソコンにセットしてお使いください。

セット時、自動再生画面が表示されましたら、「何もしない」を選択し、画面を終了してください。
DVD 内のフォルダが表示される場合は、右上の [×] をクリックし、画面を終了してください。

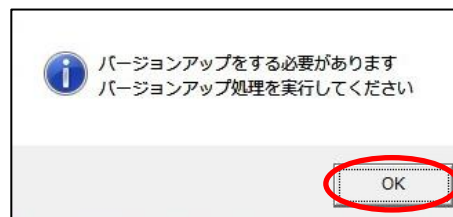
1 台でお使いの方は、ここでバージョンアップ作業は終了です。

複数台でお使いの方は、引き続き 5. アプリケーションのバージョンアップ (子機) にお進み下さい。

5. アプリケーションのバージョンアップ (子機)

親機 (またはサーバ機) のバージョンアップを完了後、以下の作業を進めてください。

1. RacroS II のアイコンをダブルクリックします。
2. バージョンアップ確認の画面が表示されますので、「OK」をクリックします。
下記メッセージが表示されない場合、パソコンの再起動を行ってください。



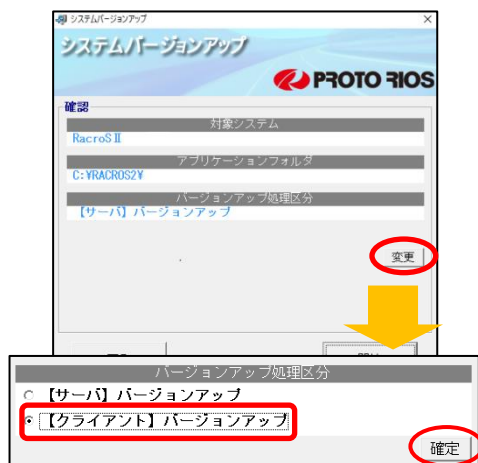
3. 「次へ」をクリックします。



4. 「開始」をクリックします。



バージョンアップの画面にて「【サーバ】バージョンアップ」と表示される場合は、「変更」ボタンから「【クライアント】バージョンアップ」を選択後、「確定」をクリックしてください。



※**銀金オプション**をお使いのお客様

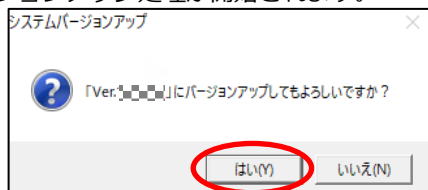
銀金提供データ DVD(青色)をパソコンにセットしてお使いください。

セット時、自動再生画面が表示されましたら、「何もしない」を選択し、画面を終了してください。
DVD 内のフォルダが表示される場合は、右上の [×]をクリックし、画面を終了してください。

バージョンアップ作業は以上で終了です。
他に子機（クライアント機）をお使いの場合は、同様にバージョンアップを行ってください。

バージョンアップ後の変更点は、次ページ以降をご確認ください。

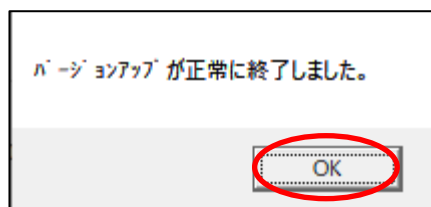
5. 確認メッセージにて「はい」をクリックすることでバージョンアップ処理が開始されます。



バージョンアップが完了するまで、**5分～10分程**かかります。

※お客様がご利用中のパソコンの環境により異なります。次の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

6. 「OK」をクリックします。



弊社発送の DVD は再インストールなどに使用するため、過去 2 回分の保管をお願いします。不用品な DVD は、お住いの地域の分別ルールに従って廃棄をお願いします。

●Ver.2510.00 での変更点

(※お使いのオプションにより使用できる機能が異なります。各項目タイトル部分をご確認ください。)

入金種別「クレジット」「電子決済」の追加

入金時の「入金種別」に関して、「クレジット」「電子決済」を追加しました。

「クレジット」「電子決済」を選択した場合、必要に応じて「クレジット会社」「電子決済名」を入力することができます。

入金処理

新規

伝票番号 307

入金日 令和 7年 0月 10日

入金区分 1:現金 2:小切手 3:振込 4:手形 5:相替 6:その他

顧客コード

最終取引

入金種別 7:クレジット 8:電子決済

摘要

繰越残高 入

合計 60,550

内 一般 103,000

立替 -42,450

預かり 0

元帳処理

顧客名 阿部 太郎 繰越残高 0

伝票No	日付	利用内容	No	車種名	売上	入金	諸費用	諸入金	合計	残高
伝 363-1 R: 7/ 4/ 5 車検 (軽)	1234	9/1			47,740	0	41,330	41,330	47,740	47,740
398-4 R: 7/ 4/ 5 入金 (クレジット)					0	5,290	0	42,450	-47,740	0
伝 399-1 R: 7/ 5/ 6 一般整備	1111	ノット R/2/2/2			29,300	29,300	0	0	0	0
410-1 R: 7/ 5/ 6 預り入金 (現金)	1111	ノット R/2/2/2			0	0	0	42,450	-42,450	-42,450
伝 361-1 R: 7/ 5/ 6 (兼用)	1111	ノット R/2/2/2			60,550	0	42,450	0	103,000	60,550

入金種別として「クレジット」「電子決済」を選択できるようにしました。

伝票No 1:現金 2:小切手 3:振込 4:手形 5:相替 6:その他

入金 入金額 調整額 値引額 振込先 手形期日

内訳 一般 0 0 0 0 0年 0月 0日

諸費用 0 0 0 0 0

「マスタ設定の方法」

「クレジット会社」「電子決済名」に関しては、事前にマスタ設定を追加する必要があります。それぞれ下記マスタにて[新規]をクリックし、登録を行います。

- ・「クレジット会社マスタ保守」(各マスタ設定 → 初期設定)
- ・「電子決済名マスタ保守」(各マスタ設定 → 初期設定)

クレジット会社マスタ保守

登録件数 3件

コード	クレジット会社名
1	VISA
2	JCB
3	MasterCard

電子決済名マスタ保守

登録件数 2件

コード	電子決済名
1	PayPay
2	LINE Pay

上記に伴い、各帳票の表示項目も変更になります。「クレジット会社」「電子決済名」が印字されます。
対象の出力帳票・・・「入金一覧表」、「売上元帳一覧表 (枠付き表)」

入金種別追加に伴い、「入金一覧表」の出力方式へ「6:入金種別+種別詳細順」を追加しました。
例えば、「クレジット」の場合はクレジット会社ごと、「電子決済」の場合は電子決済名ごとに集約し、印刷することができます。

入金一覧表

出力方式: 3: 1:入金日順 2:顧客五十音順 3:入金種別順
4:顧客コード順 5:伝票番号順 6:入金種別+種別詳細順

顧客範囲: 最初 ~ 最後
顧客区分: 最初 ~ 最後 □ 個別選択
日付範囲: 1: 0:日報 1:月報 2:期間指定
令和 7年 9月

対象種別: ☐現金 ☐小切手 ☐振込 ☐手形 ☐相殺 ☐その他 ☒クレジット ☒電子決済

全選択(A) 全解除(B)

入金一覧表 対象顧客範囲 [最初 ~ 最後] 対象顧客区分 [最初 ~ 最後] 対象期間 [R: 7/ 9]

入金種別/種別詳細	伝票NO	入金日付	顧客CD	略名	入金額	調整額	繰引額	入金額合計	摘要
【クレジット】									
【VISA】									
	411-4	R: 7/ 9/ 7	1	阿部 太郎	60,000	550			
	413-4	R: 7/ 9/10	3	長谷川 紀夫	10,000	560			
				【小計】	70,000	1,110	0	71,110	
【JCB】									
	414-4	R: 7/ 9/10	16	橋本 孝一	23,535	300	0	23,835	
				【小計】	23,535	300	0	23,835	
				【種別計】	93,535	1,410	0	94,945	
				【総合計】	93,535	1,410	0	94,945	

印刷イメージ

また下記の画面に関しても、入金種別「クレジット」「電子決済」の追加を反映しました。

- ・「領収証発行」
- ・「領収書自社名設定」(各マスタ設定 → 初期設定)
- ・「請求書発行」

入金種別追加に伴う、他社財務連携対応

OP

「クレジット」「電子決済」入金の仕訳データを出力できるように対応しました。

借方、貸方の勘定科目として、初期値は空欄になります。自社の状況に合わせてお客様のご判断のもと適切な勘定科目を入力し、ご利用ください。



勘定科目を登録する場合、パスワードが必要になります。パスワードに関しては、販売店、もしくは当社フリーダイヤルまでお問合せください。



以降の記載は一例として記載しています。経理実務は多種多様なため、絶対的な方法ではありません。参考としてご覧ください。実際の会計処理に関しては、御社の顧問税理士等専門家の方にご相談ください。

「クレジット」「電子決済」入金の仕訳データを出力する場合、事前設定が必要になります。仕訳データを出力しない場合、特に設定する必要はありません。

《事前設定》

※『弥生会計』『勘定奉行』共通

- ① 【財務データ出力-詳細設定】画面の[勘定科目設定]タブを開きます。

② クレジット/電子決済に関するパターンごとに出力有無の変更、勘定科目の入力を行います。

財務データ出力

詳細設定

『弥生会計』連携時

出力先設定 勘定科目設定 他設定

コード パターン名称 出力 借方科目 貸方科目

10 一般売上(現金) 有 100

11 一般売上(売掛) 有 130

20 一般入金(現金) 有 100

21 一般入金(小切手) 有 100

22 一般入金(振込) 有 111

23 一般入金(手形) 有 120

24 一般入金(相殺) 有 301

25 一般入金(その他) 有 100

26 一般入金(クレジット) 無

27 一般入金(電子決済) 無

30 一般調整入金(現金) 有 520

31 一般調整入金(小切手) 有 520

32 一般調整入金(振込) 有 725

33 一般調整入金(手形) 有

34 一般調整入金(相殺) 有

35 一般調整入金(その他) 有

36 一般調整入金(クレジット) 有

37 一般調整入金(電子決済) 有

38 一般調整引当(現金) 有

パターン名称は変更しないでください。

自社の状況に合わせてお客様のご判断のもと適切な勘定科目を入力し、ご利用ください。

ファイルへ出力するかどうか選択します。

税区分は財務システムのマッチングリストを参照してください

コード パターン名称 出力有無 借方科目[税区分] 貸方科目[税区分]

26 一般入金(クレジット) 有 無 [] []

借方補助科目 貸方補助科目

⚠ 勘定科目は『弥生会計』で取込む際に重要な項目です。『弥生会計』側の勘定科目と名称が一致するように入力してください。

税区分・・・勘定科目に対する税区分の設定です。
整備システム側の設定と同一にする場合は空欄にします。不明な場合も空欄にします。
非課税の場合は「別」、課税売上返還の場合は「Z 課返」、課税対応仕入の場合は「Z 課仕」と入力します。

詳細設定

『勘定奉行』連携時

出力先設定 勘定科目設定 他設定

コード パターン名称 出力 借方科目 貸方科目

10 一般売上(現金) 有 100

11 一般売上(売掛) 有 135

20 一般入金(現金) 有 100

21 一般入金(小切手) 有 100

22 一般入金(振込) 有 111

23 一般入金(手形) 有 130

24 一般入金(相殺) 有 310

25 一般入金(その他) 有 100

26 一般入金(クレジット) 無

27 一般入金(電子決済) 無

30 一般調整入金(現金) 有 520

31 一般調整入金(小切手) 有 520

32 一般調整入金(振込) 有 753

33 一般調整入金(手形) 有 520

34 一般調整入金(相殺) 有

35 一般調整入金(その他) 有

36 一般調整入金(クレジット) 有

37 一般調整入金(電子決済) 有

38 一般調整引当(現金) 有

パターン名称は変更しないでください。

自社の状況に合わせてお客様のご判断のもと適切な勘定科目を入力し、ご利用ください。

ファイルへ出力するかどうか選択します。

税区分は財務システムの勘定科目と同じ設定にしてください

コード パターン名称 出力有無 借方科目[税区分] 貸方科目[税区分]

26 一般入金(クレジット) 有 無 [] []

借方補助科目 貸方補助科目

⚠ 勘定科目やコードは『勘定奉行』で取込む際に重要な項目です。『勘定奉行』で同じ勘定科目やコードが設定されていない場合、取込まれません。

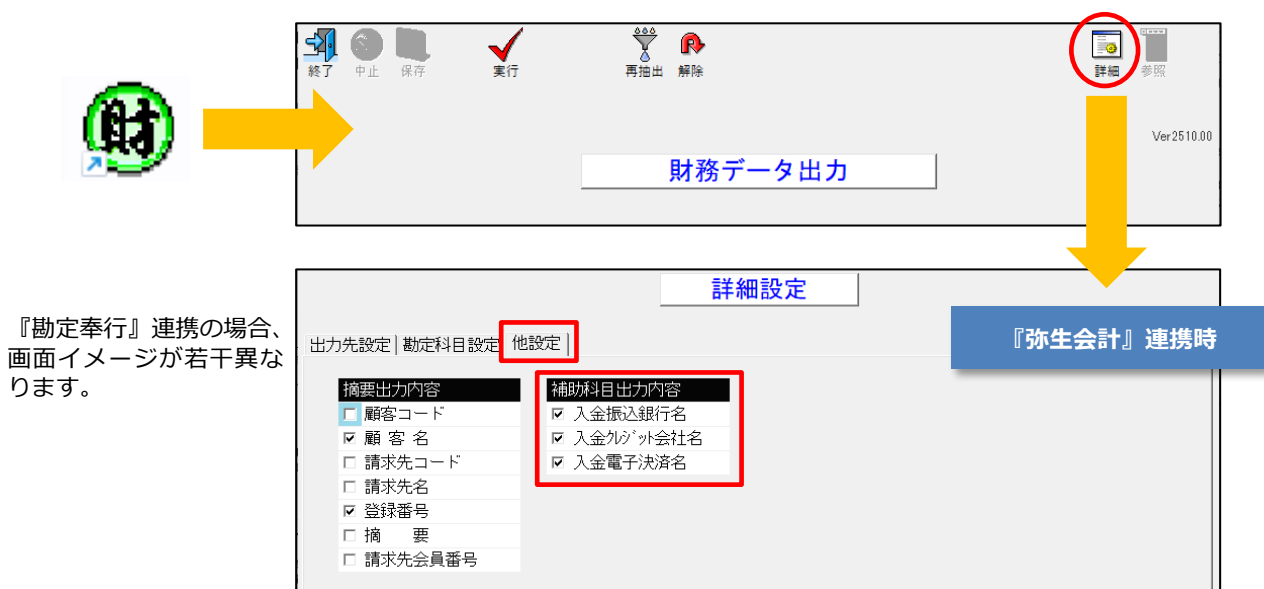
税区分・・・勘定科目に対する税区分の設定です。
個別に消費税額を出力したくない項目があれば、「別」と設定してください。
仕訳データ自体には税区分が含まれません。『勘定奉行』側で勘定科目、補助科目に対する税区分を設定し、【財務データ出力-詳細設定】画面では『勘定奉行』とそろえて入力します。不明な場合、空欄にします。

「クレジット」「電子決済」入金の仕訳データを出力する場合、事前設定は以上になります。
必要に応じて、補助科目の登録を行います。

≪補助科目として、「入金クレジット会社名」「入金電子決済名」を出力する場合≫

※『弥生会計』『勘定奉行』共通

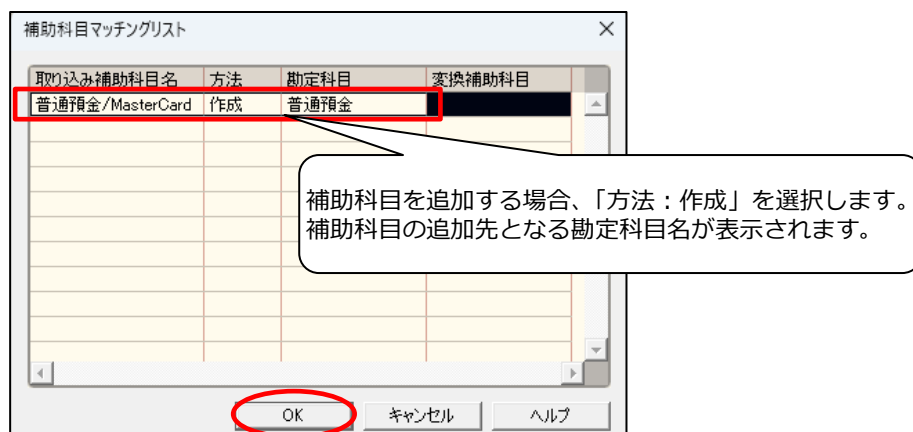
- ① 「クレジット会社マスタ保守」（各マスタ設定 → 初期設定）、「電子決済名マスタ保守」（各マスタ設定 → 初期設定）にて、利用するクレジット会社名、電子決済名を登録します。
- ② 【財務データ出力-詳細設定】画面の[他設定]タブで、[修正]をクリック後、「入金クレジット会社名」「入金電子決済名」の項目に☑チェックを入れます。



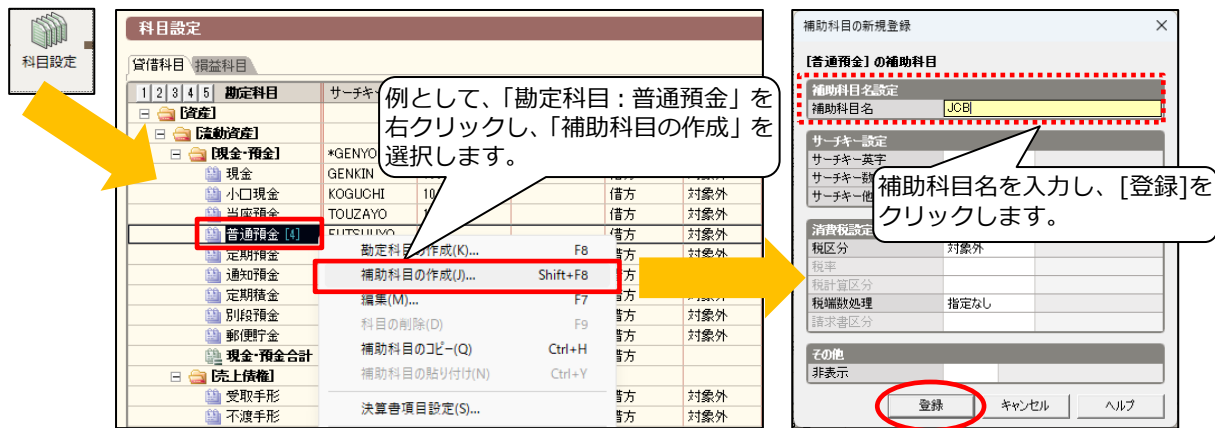
- ③ 【財務データ出力-詳細設定】画面の[勘定科目設定]タブでクレジット/電子決済に関するパターンの補助科目は空欄にしておきます。

※『弥生会計』のみ

インポート時、一致しない項目がある場合、【補助科目マッチングリスト】画面が表示されます。



あらかじめ『弥生会計』側で補助科目を設定しておくことも可能です。



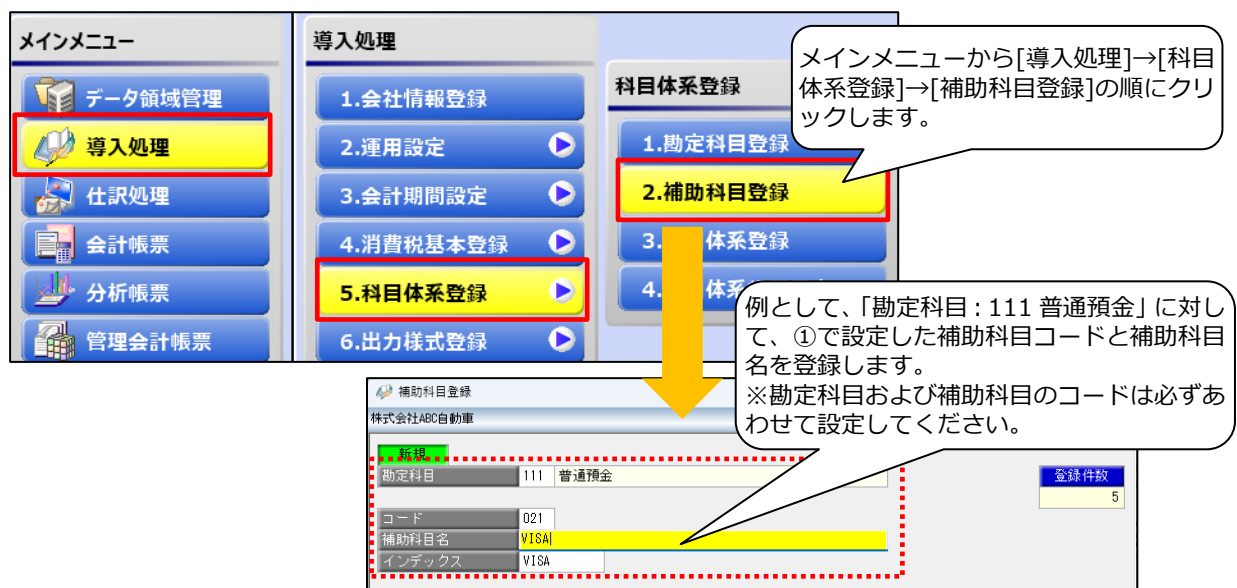
※『勘定奉行』のみ

インポート時、『勘定奉行』側で補助科目が設定されていない場合、正しく取込むことができません。当社システム側で補助科目コードを設定しておくと共に、『勘定奉行』側で補助科目の登録を行います。

- ① 【財務データ出力-詳細設定】画面の[勘定科目設定]タブを開きます。[クレカ変]もしくは[電子変]をクリックし、『勘定奉行』側で使用する補助科目コードを入力します。



- ② 『勘定奉行』側で補助科目を登録します。
補助科目が設定されていない場合、正しく取込むことができません。



OP

『TNet』連携 ゲートウェイ URL 変更

『TNet』シンプル試算の Edge 標準モード対応に関して、送信内容を暗号化するため、新しいゲートウェイ URL を使用する必要があります。「TNet ゲートウェイ URL マスタ保守」(各マスタ設定→保険情報設定)で新しいものをデフォルトに設定してください。

『TNet』シンプル試算の連携機能を使用しているお客様のみ、設定変更が必要です。

TNetゲートウェイURLマスタ保守

*'=デフォルト指定

コード	ゲートウェイ名	ゲートウェイアドレス
1	代理店認証	https://int.agt.millea.jp/tokiomarine
2	NTTデータ共同	https://www.hoken-gw.net/sso/fw/na/
3	富士通共同	https://hokengw.ne.jp/sso/fw/fa/tokiomarine
4	日立共同	https://www4.h.netforward-gw.jp/sso/fw/ha/tokiomarine-nichido1/dfw/FE/ZS4101/
5	代理店認証2025	https://int.agt.millea.jp/tokiomarine-nichido1/dfw/FE/ZS4101/gateway
6	NTTデータ共同2025	https://www.hoken-gw.net/sso/fw/na/tokiomarine-nichido1/dfw/FE/ZS4101/gateway
7	富士通共同2025	https://hokengw.ne.jp/sso/fw/fa/tokiomarine-nichido1/dfw/FE/ZS4101/gateway
8	日立共同2025	https://www4.h.netforward-gw.jp/sso/fw/ha/tokiomarine-nichido1/dfw/FE/ZS4101/gatew

該当のゲートウェイを選択し、[修正]をクリックします。(ダブルクリックでも可)

「デフォルトにする」にチェックを入れます。

コード	ゲートウェイ名	ゲートウェイアドレス	デフォルト指定
3	代理店認証2025	https://int.agt.millea.jp/tokiomarine-nichido1/dfw/FE/ZS4101/gate	☒ デフォルトにする

鈔金伝票 グレード選択時の動作改善

OP

車台番号が車種データの生産年月に合致しない等、特定条件下において下記メッセージを表示するようにしました。[OK]をクリックすることで【グレード選択】画面に移動します。

鈔金伝票発行 新規 前へ 次へ 車種選択 → グレード選択 → ボデー色選択

車検証から検索
型指・類別: 0000
初度登録(任意) 令和 4 年 8 月 検索

コーションプレートから検索
フル型式 検索

メーカー&車種から検索
メーカー: コッサン 車種名: キックス タイプ: 検索

検索処理

現在の絞込み条件では、該当するグレードがありません。
絞込み条件を変更してください。

OK

下記画面が表示されます。[クリア]をクリック、または条件を変更し任意のグレードを選択します。

[鈮金伝票発行](#)
[新規](#)
[前へ](#)
[次へ](#)

車種選択

グレード選択

ボデー色選択

メーカー

ニッサン

車種名

キックス

型指・類別

初度登録

フル型式

生産期間

平成20年10月 ~ 平成24年06月

特定整備確認

グレード検索

グレードの絞込み検索

駆動方式

1 4WD

エンジン

1 4A30ターボ

ミッション

0

グレード

0

車種区分

0

車台番号

-

生産年月

令和 0 年 0 月

グループ

項目名

クリア

☐ 生産期間西暦表示

生産期間	フル型式	排気量	グレード	エンジン	ミッション	駆動	車両情報
平成20年10月 ~ 平成24年06月	H59A-MRST	660cc	RS	4A30ターボ	4AT/F	4WD	
平成20年10月 ~ 平成24年06月	H59A-MNST	660cc	RS	4A30ターボ	5MT/F	4WD	
平成20年10月 ~ 平成24年06月	H59A-MRPT	660cc	RX	4A30ターボ	4AT/F	4WD	
平成20年10月 ~ 平成24年06月	H59A-MNPT	660cc	RX	4A30ターボ	5MT/F	4WD	